

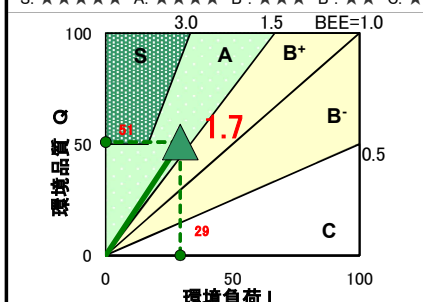
1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)サンintelネット厚木市猿ヶ島物流計画	階数	地上2F	
建設地	厚木市猿ヶ島字髭ノ後186番1ほか41筆	構造	RC造	
用途地域	指定なし、市街化調整区域	平均居住人員	100 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	2,920 時間/年(想定値)	
建物用途	工場,	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2024年12月 予定	評価の実施日	2023年3月8日	
敷地面積	27,071 m ²	作成者	(株)フジター級建築士事務所	
建築面積	13,862 m ²	確認日	2023年3月9日	
延床面積	27,054 m ²	確認者	(株)フジター級建築士事務所	



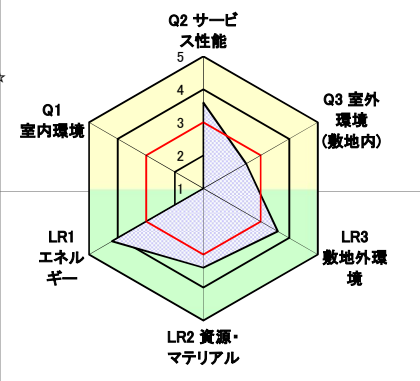
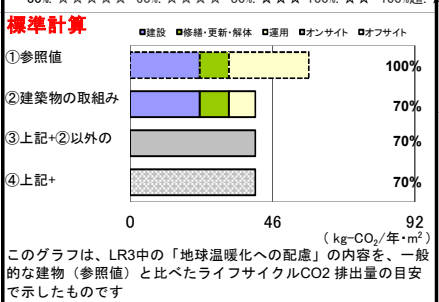
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート) 2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート) 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

BEE = 1.7 ★★★★★★☆☆

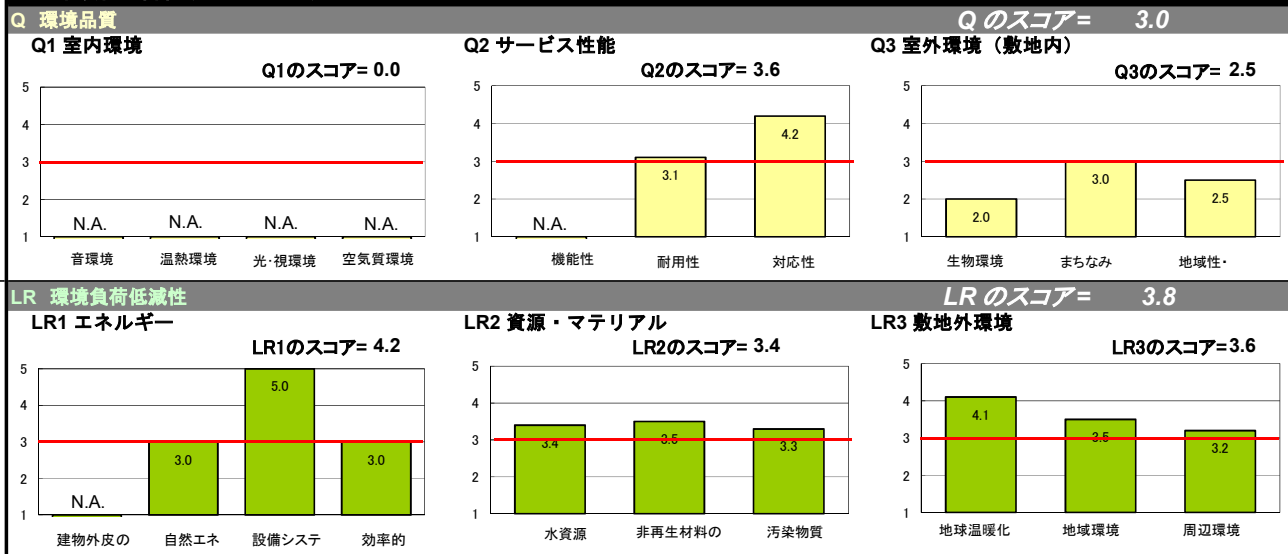
S: ★★★★★★ A: ★★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★ C: ★



☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合		その他
サービス性能に配慮し、環境品質の向上に努めた。資源・マテリアル性に配慮し、環境負荷低減に努めた。		特になし。
Q1 室内環境 評価対象外	Q2 サービス性能 耐用年数の長い部品部材を採用。ゆとりのある階高と空間の自由さ、積載荷重の計画により、将来用途変更可能性へ配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー BEI=0.33	LR2 資源・マテリアル 建物の節水性に配慮している。躯体材料以外にリサイクル材を採用し、非再生性資源の使用量削減に努めた。	LR3 敷地外環境 光害対策に十分に配慮した計画。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される